

2018年7月19日 全9頁

Indicators Update

2018年6月貿易統計

米国、アジア向け自動車の減少で輸出数量は前月比減

経済調査部
研究員 廣野 洋太
エコノミスト 小林 俊介

[要約]

- 2018年6月の貿易統計によると、輸出金額は前年比+6.7%（市場コンセンサス：同+7.0%）と前月（同+8.1%）からプラス幅が縮小、輸入金額も同+2.5%と前月（同+14.0%）からプラス幅が縮小した。貿易収支は7,214億円と2ヶ月ぶりの黒字となった。
- 輸出数量（大和総研による季節調整値）は前月比▲0.6%と2ヶ月連続で減少した。地域別では、米国向け（同▲4.3%）、アジア向け（同▲0.1%）で減少したが、EU向け（同+7.0%）は増加した。米国向けは、自動車が牽引役となり堅調に伸びていたが5、6月で大幅な減少となっている。アジア向けは、半導体等製造装置を中心とした伸びが、2017年末ごろから鈍化している。加えて6月は自動車の減少が全体を押し下げた。中国向けの乗用車輸出が大幅な減少となっており、7月からの自動車関税引き下げを見越し、輸出が抑制された可能性がある。EU向けは、足下では原動機の増加が全体を押し上げているが、トレンドとしては2017年中ごろから増勢が頭打ちとなっている。
- 米国が保護主義的な路線を突き進む一方、中国をはじめとする各国も対抗措置を取り始めている。本稿では、世界的な貿易摩擦が世界経済に与える影響を試算した。結果としては、総じて世界経済への影響は小さく、世界的な貿易摩擦を背景にした世界経済の減速が日本の輸出を押し下げる効果も限定的とみられる。むしろ、米国による自動車関税の引き上げが、日本企業に与える直接的な影響の方が懸念されるだろう。

図表1：貿易統計の概況(原系列、前年比、%)

	2017年			2018年					
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
輸出金額	14.0	16.2	9.4	12.3	1.8	2.1	7.8	8.1	6.7
コンセンサス									7.0
DIR予想									9.7
輸入金額	19.0	17.3	15.0	7.8	16.6	▲0.5	6.0	14.0	2.5
輸出数量	3.8	5.5	4.5	9.3	▲2.1	1.8	4.6	4.2	1.5
価格	9.8	10.1	4.6	2.7	4.1	0.3	3.0	3.7	5.2
輸入数量	3.2	2.6	5.9	2.6	11.7	▲4.8	1.5	6.4	▲5.9
価格	15.3	14.3	8.6	5.0	4.4	4.5	4.5	7.2	9.0
貿易収支	2,786	1,052	3,562	▲9,483	▲1	7,933	6,208	▲5,805	7,214
税関長公示レート	112.40	113.54	112.48	112.47	109.26	106.56	106.31	109.08	109.86

(注1) 貿易収支は億円。税関長公示レートは円/ドルレート。

(注2) コンセンサスはBloomberg。

(出所) 財務省、Bloombergより大和総研作成

輸出金額は数量要因によって前年比プラス幅が縮小

2018年6月の貿易統計によると、輸出金額は前年比+6.7%（市場コンセンサス：同+7.0%）と前月（同+8.1%）からプラス幅が縮小、輸入金額も同+2.5%と前月（同+14.0%）からプラス幅が縮小した。貿易収支は7,214億円と2ヶ月ぶりの黒字となった。

輸出金額を数量要因と価格要因に分解すると、数量要因は前年比+1.5%と前月（同+4.2%）からプラス幅が縮小した。価格要因については同+5.2%とプラス幅が前月（同+3.7%）から拡大している。輸出価格については、鉄鋼や非鉄金属などの単価が全体の価格を押し上げてきたが、足下では電子部品の中のICや音響・映像機器の単価が全体を押し上げている。

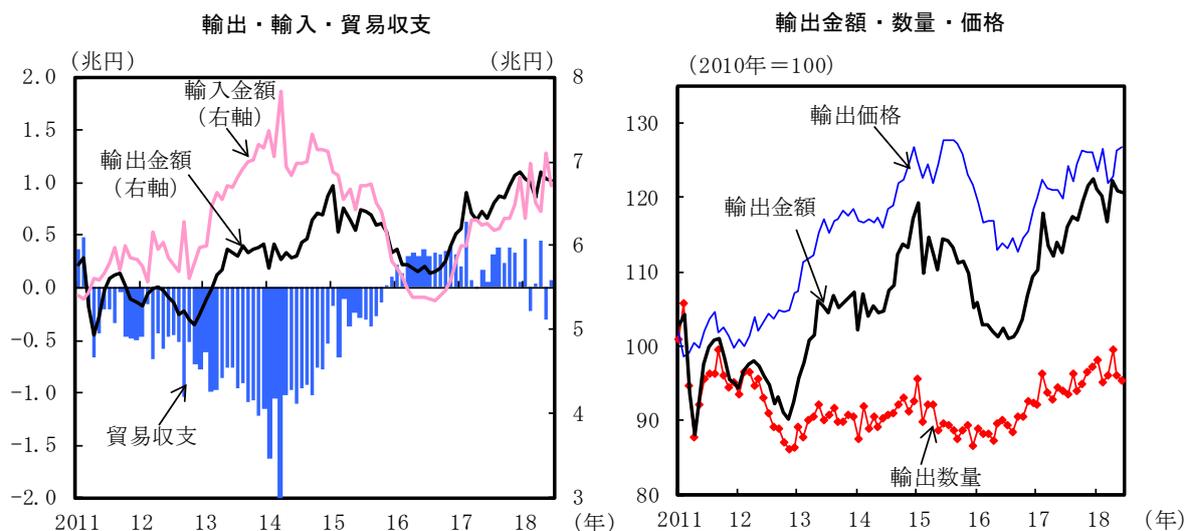
輸入金額を数量要因と価格要因に分解すると、数量要因は前年比▲5.9%と前月（同+6.4%）からマイナス転換している。価格要因については同+9.0%と前月（同+7.2%）からプラス幅が拡大している。

輸入数量を商品別に見ると、原油及び粗油が前月から前年比でマイナス転換しており、こちらの影響が大きかったようだ。また、価格要因については、原油価格が前年比プラス幅を大きく拡大しており、こちらが影響したものとみられる。

季節調整値で見ると、輸出金額は前月比▲0.1%、輸入金額は同▲5.3%となった結果、貿易収支は662億円の黒字となり、前月（3,002億円の赤字）から黒字転換した。

貿易収支については昨年末ごろから振れが大きくなっているが、これは主に輸入金額の変動によるものである。中でも原油及び粗油の数量の変動が大きく、原油価格や政治動向などによって輸入数量が影響を受けている可能性がある。

図表 2：輸出金額・数量・価格、貿易収支（季節調整値）



(注) 輸出数量、輸出価格の季節調整は大和総研。
 (出所) 財務省統計より大和総研作成

輸出数量は2ヶ月連続で減少。アジア、米国向け自動車弱い

輸出数量（大和総研による季節調整値）は前月比▲0.6%と2ヶ月連続で減少した。地域別に見ると、米国向け（同▲4.3%）、アジア向け（同▲0.1%）で減少した一方、EU向け（同+7.0%）は増加した。

米国向けは、自動車が牽引役となり堅調に伸びていたが5、6月で大幅な減少となっている。また、半導体等製造装置についても6月は大幅な減少となっており、トレンドとしても2017年中ごろをピークに減少傾向となっている。アジア向けは、半導体等製造装置を中心とした伸びが、2017年末ごろから鈍化している。加えて6月は自動車の減少が全体を押し下げた。中国向けの乗用車輸出が大幅な減少となっており、7月からの自動車関税引き下げを見越し、輸出が抑制された可能性がある。EU向けは、足下では原動機や半導体等製造装置の増加が全体を押し上げているが、トレンドとしては2017年中ごろから増勢が頭打ちとなっている。

また、輸出数量（大和総研による季節調整値）を四半期ベースで見ると、4-6月期の輸出数量は前期比+0.6%である。5、6月は振るわなかったものの、4月の輸出数量が好調であったことから前期比増となった。1-3月期（同+0.23%）からは加速したものの、2017年の増勢（平均で前期比+1.2%）と比較すると弱い。

中国の関税引き下げによって、6、7月の輸出数量は上下に振れる可能性

中国政府は5月22日、自動車および自動車部品の関税率を7月1日から引き下げることを発表した。具体的には、20%もしくは25%であった自動車の関税率は15%に、8~25%であった自動車部品の関税率は一律で6%に引き下げられている。さらに5月31日には、1,449項目に及ぶ日用品などの関税率についても7月1日から引き下げられることが発表された。

関税率の引き下げは、企業にとってはコスト削減につながるため、輸出増とそれに伴う生産の増加が期待される。また今回の関税引き下げは、5月中にアナウンスされていることから、企業は6月の生産や出荷、輸出を控え、7月分を増加させる可能性がある。実際、中国向け輸出数量は5月の前年比+10.5%から6月は同+7.1%に縮小している。

公表されている品目とその関税率の引き下げ幅から、対象となる項目の対中輸出額と平均的な関税率の引き下げ幅を**図表3**にまとめた。対象となる項目は総額で1.9兆円、平均的な関税率引き下げ幅は▲6.6%pt、金額にすると▲1,271億円と試算される。

図表3：中国の関税率引き下げの概要と日本の対中輸出への影響

	対象品目総額 (億円)	現行平均税率 (%)	引き下げ後 平均税率 (%)	平均 引き下げ幅 (%pt)	関税 引き下げ額 (億円)
動物（生きていないものに限る。）及び動物性生産品（主に水産物）	329	10.2	7.0	▲3.2	▲10.5
調製食料品、飲料、アルコール、食酢、たばこ及び製造たばこ代用品	207	20.7	8.6	▲12.2	▲25.2
化学工業（類似の工業を含む。）の生産品	2,168	7.2	2.3	▲4.8	▲104.6
医療用品	563	4.4	0.0	▲4.4	▲25.0
化粧品	1,129	7.4	1.8	▲5.6	▲63.5
洗剤	432	10.1	6.5	▲3.6	▲15.3
プラスチック及びゴム並びにこれらの製品	66	10.3	6.6	▲3.7	▲2.4
革製品及び動物用装着具並びに旅行用具、ハンドバッグなど	10	12.5	6.9	▲5.5	▲0.6
紙及び板紙並びに製紙用パルプ、紙又は板紙の製品	103	7.5	5.0	▲2.5	▲2.6
繊維用繊維及びその製品	138	14.8	6.2	▲8.6	▲11.9
履物、帽子、傘、つえ、シートステッキ及びむち並びにこれらの部分品	27	17.2	7.4	▲9.8	▲2.7
陶磁製品並びにガラス及びその製品	45	12.6	7.0	▲5.6	▲2.5
天然又は養殖の真珠、貴金属など	27	29.9	9.4	▲20.5	▲5.5
卑金属及びその製品	57	14.5	7.0	▲7.5	▲4.2
機械類及び電気機器並びにこれらの部分品	412	18.4	7.4	▲11.0	▲45.2
車両、航空機、船舶及び輸送機器関連品（下記で掲載するものは除く）	1	18.2	5.9	▲12.3	▲0.1
精密機器、時計及び楽器並びにこれらの部分品及び附属品	208	17.0	9.6	▲7.5	▲15.5
雑品	1,786	12.0	5.1	▲6.8	▲122.2
美術品、収集品及びびこつとう	1	12.5	3.5	▲9.0	▲0.1
日用品など計	5,584	11.1	4.7	▲6.4	▲355.7
自動車	5,556	25.0	15.0	▲10.0	▲555.6
自動車部品	8,113	10.4	6.0	▲4.4	▲359.9
自動車関連計	13,669	16.4	9.7	▲6.7	▲915.5
総計	19,253	14.8	8.2	▲6.6	▲1,271.1

（注1）輸出統計品目表の「部」単位で集計。第9部はほぼゼロのため省略。表記についても適宜省略しているため本表とは一致しない。

（注2）HSコード6桁ベースで計算。関税率は、2017年の輸出額で加重平均して計算。

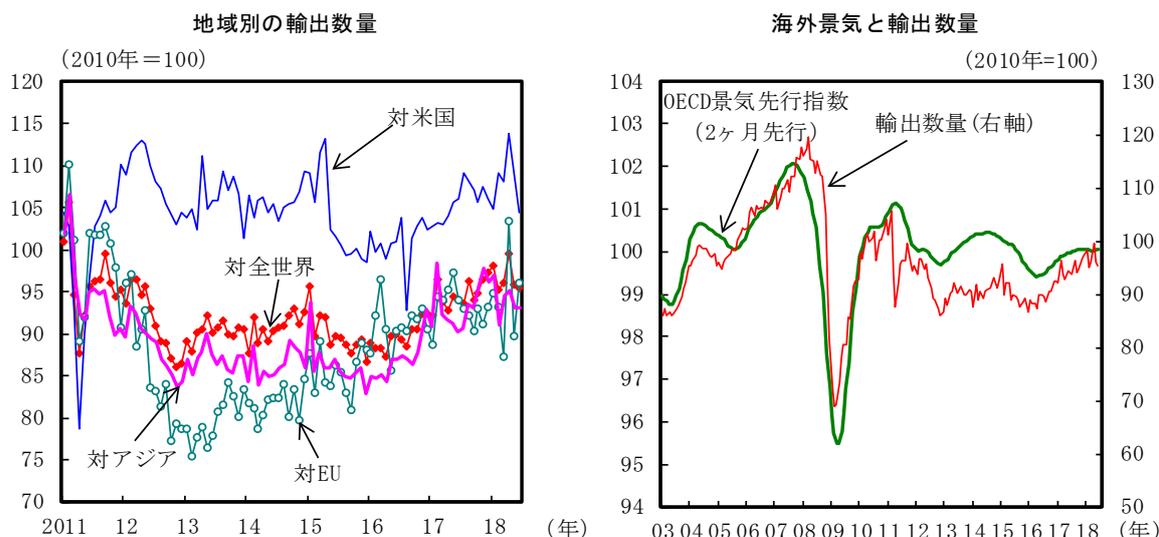
（出所）JETRO、中国財政部資料、財務省統計より大和総研作成

輸出数量は増加基調を維持するものの、増勢は鈍化する見通し

先行きの輸出数量について、増加基調は維持するがその増勢は鈍化するとみている。2017年度の輸出は、米国を中心とした在庫循環上の回復や共産党大会を控えた中国経済の加速に支えられてきたが、これらのプラス要因はすでに剥落している。ただし、米国の減税効果という新たなプラス要因が顕在化するため、海外経済が大きく腰折れする可能性は低く増加基調は維持されるとみている。

また中国は、日用品などの関税率を引き下げた。公表されている情報をもとに日本企業が支払う関税額の減少分を試算すると1,271億円程度となる。一方、米国では自動車関連輸入の調査が始まっており、その動向には注意が必要だ。20%の追加関税が自動車とその部品にかけられた場合、メキシコやカナダなど第三国からの自動車輸出も含めると関税の増加額は全体で1.8兆円程度と試算され、中国の輸入関税引き下げのプラス効果を上回るマイナス効果となる。

図表4：地域別の輸出数量、海外景気と輸出数量（季節調整値）



(注1) OECD景気先行指数(CLI)はOECD諸国とBRICsなど非加盟6ヶ国を集計したベース。

(注2) 輸出数量の季節調整は大和総研。

(出所) 財務省、OECD統計より大和総研作成

トピックス：貿易摩擦による世界経済への影響は？¹

米国が保護主義的な路線を突き進む一方、中国をはじめとする各国も対抗措置を取り始めている。本稿では、世界的な貿易摩擦が世界経済に与える影響を試算した。

今回は、①米中間の関税合戦、②米国による鉄鋼・アルミニウム関税の引き上げ、③米国による自動車関連関税の引き上げをマイナス要因として挙げる一方、摩擦による譲歩の産物として④中国による日用品・自動車関税の引き下げ、⑤EUの自動車関税引き下げをプラス要因として考慮している。推計方法については、関税増加（減少）分の世界貿易額に対する比率を世界の貿易コストの押し上げ（下げ）とし、IMF、OECDによる試算値に掛け合わせることで世界経済への影響を試算している。

推計結果が**図表5**であるが、総じて世界経済への影響は限定的であり、最も影響が大きいのは③米国による自動車関連関税の引き上げである。この推計結果を踏まえると貿易摩擦を背景にした世界経済の減速が日本の輸出を押し下げる効果も限定的とみられる。むしろ、上述した米国による自動車関税の引き上げが、日本企業に与える直接的な影響の方が懸念されるだろう。

¹ 詳細は、小林俊介、廣野洋太「日本経済見通し：2018年7月」（大和総研レポート、2018年7月19日登録）を参照。

図表5：各関税措置が貿易コストと世界経済に与える影響試算一覧

①米2,500億ドル中500億ドル関税				世界経済への影響		
	米国	中国	計	OECD	IMF 5年後	IMF より長期
関税変化額(億ドル)	325.0	125.0	450.0	0.26	0.26	0.26
世界の輸入物価変化率(%)	0.19	0.07	0.26	-0.15	-0.39	-0.41
				-0.04	-0.04	-0.05
②米国の鉄鋼・アルミ関税引き上げ				世界経済への影響		
	鉄鋼	アルミニウム	計	OECD	IMF 5年後	IMF より長期
関税変化額(億ドル)	58.4	16.4	74.8	0.04	0.04	0.04
世界の輸入物価変化率(%)	0.03	0.01	0.04	-0.03	-0.06	-0.07
				-0.01	-0.01	-0.01
同額の報復が行われるケース						
				0.09	0.09	0.09
				-0.05	-0.13	-0.14
				-0.01	-0.01	-0.02
③米国の自動車関税引き上げ				世界経済への影響		
	乗用車	自動車部品	計	OECD	IMF 5年後	IMF より長期
関税変化額(億ドル)	310.0	115.3	425.3	0.24	0.24	0.24
世界の輸入物価変化率(%)	0.18	0.07	0.24	-0.15	-0.36	-0.39
				-0.03	-0.04	-0.05
同額の報復が行われるケース						
				0.49	0.49	0.49
				-0.29	-0.73	-0.78
				-0.07	-0.08	-0.10
マイナス効果計(①+②+③)				OECD	IMF 5年後	IMF より長期
				0.83	0.83	0.83
				-0.50	-1.24	-1.32
				-0.12	-0.14	-0.17
④中国の日用品、自動車関税引き下げ				世界経済への影響		
	日用品	自動車	計	OECD	IMF 5年後	IMF より長期
関税変化額(億ドル)	-52.4	-45.9	-98.4	-0.06	-0.06	-0.06
世界の輸入物価変化率(%)	-0.03	-0.03	-0.06	0.04	0.09	0.10
				0.01	0.01	0.01
⑤EUの自動車関税引き下げ				世界経済への影響		
		自動車		OECD	IMF 5年後	IMF より長期
関税変化額(億ドル)		-43.5		-0.02	-0.02	-0.02
世界の輸入物価変化率(%)		-0.02		0.01	0.04	0.04
				0.00	0.00	0.00
プラス効果計(④+⑤)				OECD	IMF 5年後	IMF より長期
				-0.09	-0.09	-0.09
				0.05	0.13	0.14
				0.01	0.02	0.02
決定済み政策計(①+②+④)				OECD	IMF 5年後	IMF より長期
				0.24	0.24	0.24
				-0.14	-0.36	-0.38
				-0.03	-0.04	-0.05

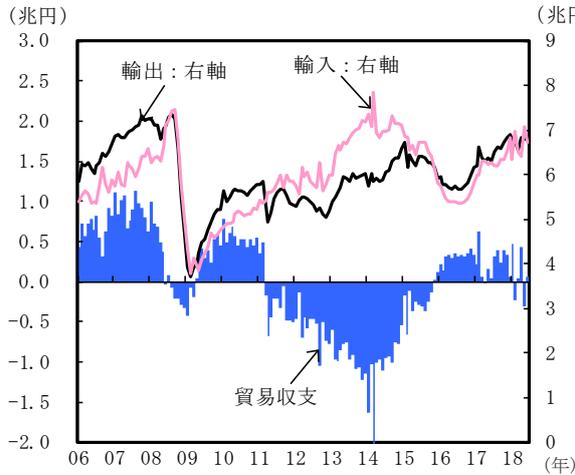
(注1) ④、⑤については該当する対米輸入分を控除している。

(注2) 中国は2016年の実績値、その他の国は2017年の実績値で推計。

(出所) 米国センサス局、中国税関、Eurostat、財務省、FRB、OECD、IMF、世界銀行、UN Comtrade、各種報道より大和総研作成

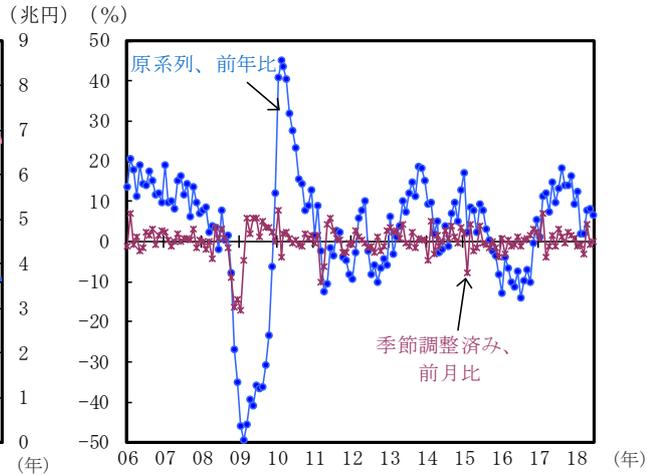
概況

輸出入と貿易収支 (名目、季節調整値)

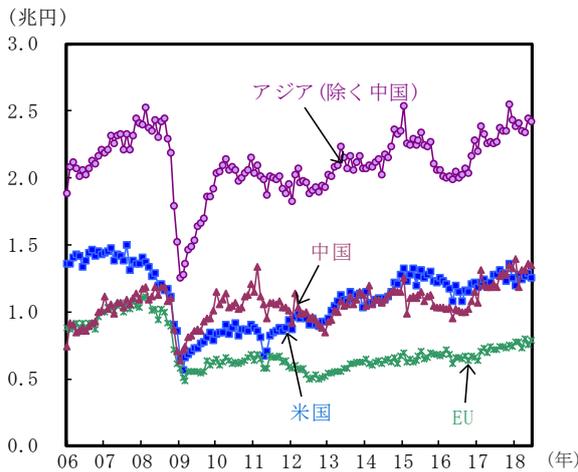


(出所) 財務省統計より大和総研作成

輸出額の変化率 (名目)

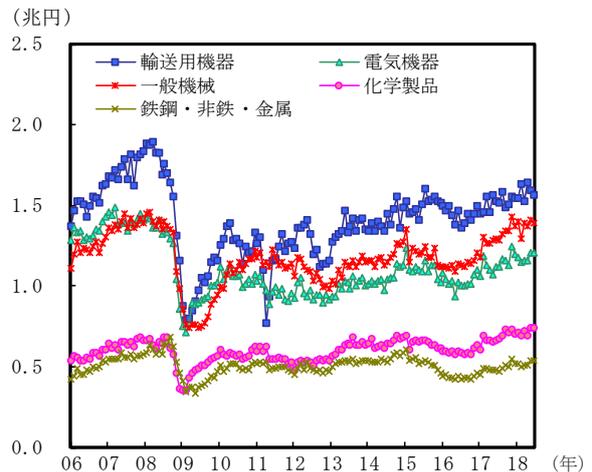


主要地域・国別の輸出額 (名目、季節調整値)

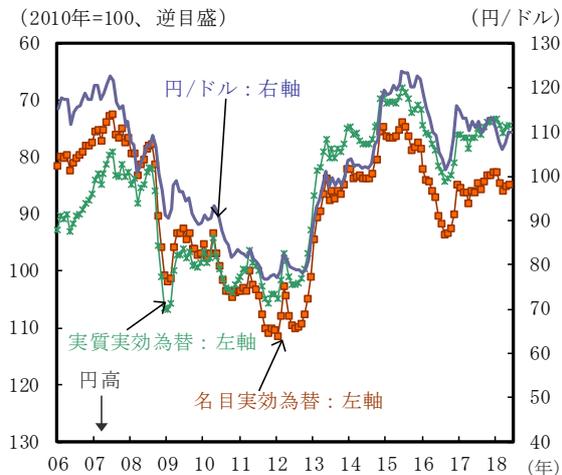


(注) 季節調整は大和総研。
(出所) 財務省統計より大和総研作成

主要商品別の輸出額 (名目、季節調整値)

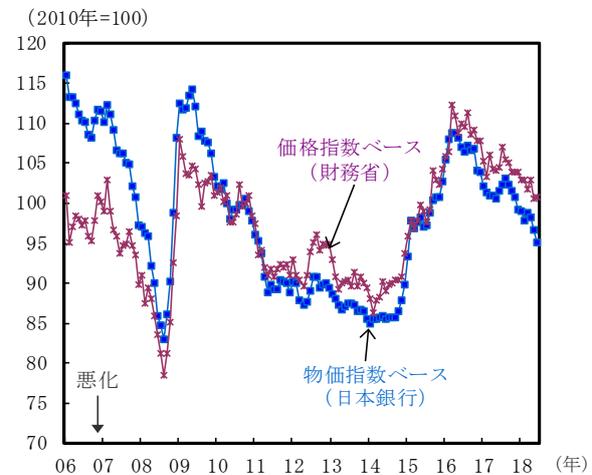


為替相場



(注) 交易条件は、輸出価格指数/輸入価格指数 (輸出物価指数/輸入物価指数)。
(出所) 財務省、日本銀行統計より大和総研作成

交易条件



輸出金額 内訳								
	2018/01	2018/02	2018/03	2018/04	2018/05	2018/06		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	12.3	1.8	2.1	7.8	8.1	6.7	100.0	6.7
食料品	38.4	▲6.2	8.4	25.8	25.7	21.5	0.9	0.2
原料品	2.1	▲3.0	▲5.8	4.2	13.5	10.4	1.5	0.1
鉱物性燃料	▲3.0	12.0	▲3.4	57.4	33.7	17.3	1.3	0.2
化学製品	17.2	▲0.1	8.2	5.0	12.5	11.6	10.3	1.1
原料別製品	14.3	0.5	4.6	4.1	10.7	9.5	11.5	1.1
鉄鋼	10.0	0.6	▲0.3	1.2	7.8	7.2	4.2	0.3
非鉄金属	27.4	5.1	11.6	10.4	23.7	19.4	1.9	0.3
金属製品	14.2	1.1	9.3	8.8	7.7	13.4	1.6	0.2
一般機械	18.4	▲0.6	10.2	8.6	9.9	8.4	20.5	1.7
電気機器	11.6	▲3.1	3.2	4.8	11.3	8.1	17.4	1.4
半導体等電子部品	5.9	▲4.4	4.3	4.3	8.4	9.0	5.1	0.4
I C	7.1	▲5.2	5.1	7.9	7.7	9.3	3.5	0.3
映像記録・再生機器	▲7.0	▲17.7	▲16.2	▲13.1	▲1.5	5.0	0.5	0.0
音響・映像機器の部分品	▲5.4	▲29.9	▲18.1	▲24.2	6.7	▲14.4	0.3	▲0.1
電気回路等の機器	17.9	▲4.0	0.2	▲1.1	4.3	1.5	2.5	0.0
輸送用機器	6.2	11.4	▲1.7	11.8	1.7	2.7	23.3	0.6
自動車	6.7	15.7	5.4	15.3	7.1	▲1.0	14.7	▲0.2
自動車の部分品	6.9	▲1.0	0.4	0.3	10.4	8.4	5.0	0.4
その他	12.3	▲1.9	▲9.3	4.5	2.2	2.0	13.4	0.3
科学光学機器	4.2	▲7.7	▲2.3	▲6.5	▲3.8	▲3.0	2.7	▲0.1

米国向け輸出金額 内訳								
	2018/01	2018/02	2018/03	2018/04	2018/05	2018/06		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	1.2	4.3	0.2	4.3	5.8	▲0.9	100.0	▲0.9
食料品	3.2	▲1.3	10.4	1.8	3.5	10.8	0.7	0.1
原料品	16.4	27.2	128.4	▲31.7	4.2	25.3	0.5	0.1
鉱物性燃料	130.6	137.0	16.8	124.7	53.1	131.0	1.0	0.5
化学製品	9.4	2.4	14.7	4.8	13.0	9.7	6.2	0.5
原料別製品	12.3	▲2.1	▲5.9	▲0.4	11.1	1.7	6.8	0.1
鉄鋼	38.5	▲16.4	▲13.7	13.7	18.6	▲17.2	1.3	▲0.3
非鉄金属	15.8	25.6	7.8	▲4.3	28.9	31.7	0.8	0.2
金属製品	▲3.9	▲3.7	▲9.5	▲9.5	▲2.5	1.5	1.7	0.0
一般機械	2.4	1.2	0.5	2.4	3.1	0.1	22.9	0.0
電気機器	▲2.0	▲2.7	▲4.3	0.8	10.9	6.4	14.2	0.8
半導体等電子部品	▲7.7	▲6.7	▲9.9	▲3.3	5.2	7.8	1.6	0.1
I C	▲16.7	▲9.7	▲15.6	▲11.0	3.2	▲7.2	0.8	▲0.1
映像記録・再生機器	▲26.9	▲12.4	▲26.8	1.1	▲2.0	25.3	0.8	0.2
音響・映像機器の部分品	▲10.0	▲11.9	▲61.2	▲18.2	▲20.0	▲9.1	0.2	▲0.0
電気回路等の機器	3.6	▲7.9	▲9.9	▲10.5	3.1	5.8	1.4	0.1
輸送用機器	▲3.6	6.9	0.3	5.3	▲0.9	▲9.9	37.2	▲4.1
自動車	▲3.9	12.3	3.2	10.0	▲3.9	▲12.0	27.9	▲3.8
自動車の部分品	▲0.3	▲7.9	▲2.6	▲2.7	12.6	▲0.1	6.0	▲0.0
その他	6.4	12.0	▲4.1	11.9	19.7	9.3	10.6	0.9
科学光学機器	16.8	7.5	2.4	4.5	3.5	▲3.3	2.1	▲0.1

EU向け輸出金額 内訳								
	2018/01	2018/02	2018/03	2018/04	2018/05	2018/06		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	20.3	11.5	0.3	14.1	0.7	9.3	100.0	9.3
食料品	17.7	▲9.9	▲1.5	30.9	▲30.0	10.7	0.3	0.0
原料品	31.8	9.4	14.9	21.6	6.4	19.3	0.9	0.2
鉱物性燃料	▲27.9	293.4	▲60.5	146.8	57.4	15.7	0.3	0.0
化学製品	15.9	15.8	17.7	20.5	10.4	14.5	8.8	1.2
原料別製品	14.4	23.4	12.9	14.5	17.8	12.6	6.2	0.8
鉄鋼	▲4.9	21.3	13.6	11.6	20.0	▲1.8	0.7	▲0.0
非鉄金属	48.2	82.3	24.9	26.5	22.0	22.5	0.6	0.1
金属製品	11.4	19.4	10.1	14.6	8.2	7.6	1.5	0.1
一般機械	18.0	2.6	10.2	3.3	10.5	13.1	23.7	3.0
電気機器	9.4	14.0	11.8	10.0	13.4	8.7	17.9	1.6
半導体等電子部品	8.8	4.1	0.1	1.6	4.7	3.6	2.1	0.1
I C	6.4	1.6	▲7.7	▲6.0	▲9.8	▲7.7	1.1	▲0.1
映像記録・再生機器	▲8.7	▲9.1	▲8.6	▲14.6	2.4	8.3	0.8	0.1
音響・映像機器の部分品	28.8	17.5	7.3	22.8	2.3	19.3	0.2	0.0
電気回路等の機器	22.1	21.1	15.0	7.4	11.1	9.8	1.8	0.2
輸送用機器	22.3	31.5	▲8.4	23.0	▲15.8	6.2	28.4	1.8
自動車	19.1	39.3	▲8.7	24.1	15.8	▲17.4	13.6	▲3.1
自動車の部分品	10.7	9.8	10.7	3.5	22.6	5.7	5.5	0.3
その他	41.7	▲13.9	▲23.2	13.9	▲7.4	4.7	13.4	0.7
科学光学機器	22.3	9.4	12.7	4.8	3.8	3.6	3.0	0.1

(出所) 財務省統計より大和総研作成

アジア向け輸出金額 内訳								
	2018/01	2018/02	2018/03	2018/04	2018/05	2018/06		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	16.1	▲3.2	4.5	6.0	9.8	8.6	100.0	8.6
食料品	50.2	▲8.7	9.1	31.5	38.8	25.5	1.1	0.3
原料品	▲1.1	▲5.3	▲16.0	5.7	14.8	7.9	2.2	0.2
鉱物性燃料	▲14.1	▲0.6	▲2.0	44.4	61.5	▲15.5	1.1	▲0.2
化学製品	18.8	▲3.0	6.1	4.4	12.0	11.4	14.0	1.6
原料別製品	17.2	▲1.8	8.1	6.6	11.2	13.3	14.7	1.9
鉄鋼	9.4	▲1.3	4.3	3.8	7.0	12.8	5.9	0.7
非鉄金属	29.2	0.5	12.8	11.3	23.9	19.5	3.0	0.5
金属製品	23.4	0.8	16.2	14.4	11.2	18.6	1.8	0.3
一般機械	30.0	▲4.1	13.9	12.8	11.8	9.4	20.9	1.9
電気機器	15.0	▲6.8	3.7	4.3	11.0	8.2	21.4	1.8
半導体等電子部品	6.9	▲4.8	5.9	5.2	8.7	9.3	8.2	0.8
I C	8.5	▲5.2	7.2	9.7	8.9	11.0	5.9	0.6
映像記録・再生機器	2.0	▲26.4	▲16.2	▲17.2	▲3.9	▲5.1	0.4	▲0.0
音響・映像機器の部分品	▲2.3	▲40.1	▲6.8	▲31.7	7.7	▲22.5	0.4	▲0.1
電気回路等の機器	21.6	▲6.7	0.4	▲0.5	3.2	0.3	3.5	0.0
輸送用機器	11.4	5.6	▲2.6	0.6	5.0	5.7	9.2	0.5
自動車	27.6	14.3	9.2	9.5	15.2	3.3	4.1	0.1
自動車の部分品	11.9	▲2.2	1.3	1.5	6.2	19.4	4.3	0.8
その他	6.7	▲3.0	▲4.0	▲0.5	▲1.0	4.4	15.4	0.7
科学光学機器	▲1.3	▲13.5	▲4.3	▲11.6	▲7.6	▲4.3	3.4	▲0.2

中国向け輸出金額 内訳								
	2018/01	2018/02	2018/03	2018/04	2018/05	2018/06		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	30.8	▲9.7	10.8	10.9	13.9	11.1	100.0	11.1
食料品	83.2	▲30.7	1.7	79.7	86.6	69.8	0.6	0.3
原料品	▲23.7	▲24.9	▲34.2	▲7.3	14.3	▲2.4	2.6	▲0.1
鉱物性燃料	▲38.0	5.1	20.8	▲22.1	70.8	▲17.0	0.4	▲0.1
化学製品	35.5	▲8.6	11.6	8.9	13.8	14.2	15.1	2.1
原料別製品	35.4	▲9.7	9.3	9.1	4.9	9.9	12.0	1.2
鉄鋼	20.8	▲7.9	▲6.5	▲2.9	▲8.9	1.9	3.5	0.1
非鉄金属	57.5	▲0.9	35.2	41.4	10.8	26.0	3.0	0.7
金属製品	34.9	▲8.4	14.4	12.7	11.1	19.2	1.8	0.3
一般機械	62.7	▲9.5	32.0	36.6	30.5	22.9	26.2	5.4
電気機器	27.4	▲11.0	6.6	5.3	12.8	10.4	21.9	2.3
半導体等電子部品	11.6	▲3.3	12.0	11.0	10.6	27.4	7.7	1.9
I C	11.7	1.4	17.3	17.6	9.3	35.5	5.8	1.7
映像記録・再生機器	14.0	▲15.3	▲5.9	▲10.8	7.5	▲3.6	0.6	▲0.0
音響・映像機器の部分品	▲8.0	▲53.1	▲9.3	▲47.4	23.0	▲23.1	0.5	▲0.2
電気回路等の機器	57.1	▲12.9	▲3.1	0.2	6.2	0.5	3.8	0.0
輸送用機器	25.4	4.8	7.1	1.4	6.9	8.8	9.3	0.8
自動車	45.7	26.5	16.4	9.7	0.3	▲2.5	3.0	▲0.1
自動車の部分品	11.8	▲6.7	0.6	▲3.8	11.5	14.3	6.1	0.8
その他	7.7	▲15.1	▲3.1	▲5.1	▲2.3	▲6.0	12.0	▲0.9
科学光学機器	▲3.6	▲18.8	▲3.8	▲14.8	▲4.0	▲10.0	4.7	▲0.6

(出所) 財務省統計より大和総研作成